

第7回大阪府四條畷市未来技術地域実装協議会 議事概要

日時:令和7年1月10日(金) 14時～15時00分

場所:四條畷市立グリーンホール田原 「なるなるホール」

議事概要

事務局から出席者紹介

主催者挨拶

(四條畷市長 東 修平)

皆様こんにちは。市長の東でございます。この取組みは、未来技術の実装ということで令和2年度から取組んでまいりました。平成29年度から、田原地域の活性化についての議論が始まり、足掛け8年が経過しております。この間、本日ご出席いただいている皆様をはじめ、多くの皆様のお力添え・ご協力があって、今日を迎えております。改めまして、この場をお借りしてこれまでご協力いただいている皆様方、本日ご出席いただいている皆様方に心より感謝申し上げます。いつもありがとうございます。

そしてこの令和6年度、たわらコネクトカートは、レベル4に向けて着実に歩みを進めている最中でございます。走らせることが目的ではなくて、自動運転という技術を持ちまして、いかに地域をより暮らしやすいものにしていくのか、コミュニケーションをしっかりと図りながら取組みを進めていけるのかということをお願いして行政としても取組んでいるところです。今後も引き続き、こうした取組みが核となって、田原地域、四條畷市が発展していけるように尽力してまいりますので、関係者の皆様方にはお力添えいただきたいと思っております。

一方で、この未来技術の取組みは令和2年度から5年間という取組みになっておりまして、本日が最終年度5年目の、最後の会議となります。そういう意味では、今後新しくレベル4に向けた地域コミッティ会議の方に場を移していくことなるかと思っておりますけれども、節目として本日も事務局から事業説明をしっかりとさせていただきますので、忌憚のないご意見をいただければと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

現地支援責任者 挨拶

(近畿地方整備局大阪国道事務所 志々田所長)

現地支援責任者をしております大阪国道事務所の志々田でございます。いつもお世話になっております。関係者の皆様におかれましては、道路の関係でも普段から色々お世話になっております。特に寒くなって地元の国道の凍結等でご迷惑をおかけしております。夜な夜な、融雪剤を散布させていただいておりますが、中々十分回っていないところがございます。しっかり頑張っていきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

また、本協議会におきましては、令和2年度から内閣府の未来技術社会実装事業として採択されて、四條畷市様の方で自動運転の実証そして実証実験の結果の検証等、着実に進めていただきましたこと感謝申し上げます。また、今年度におきましては、路車協調システムと遠隔監視システムの実証実験を実施し、路車協調システムにつきましては期間が限られていましたけれども、

これまでの単体の技術とはまた違った技術を使って、違った観点をみていただけたと思います。私どもも、春に乗せていただいた後に、実証実験中も何度か関係者含めて、確認をさせていただきました。実際の利用者の観点につきましては、こちらの方で色々評価をいただいているところだと思いますが、そういうことも含めて色々お世話になりました。先ほどもご紹介がありましたとおり、今回の未来技術地域実装協議会といたしましては、ここが締めということになりますが、大阪国道事務所といたしましても、地域コミッティ会議の中で、引き続き関係させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 議事Ⅰ 令和6年度事業進捗状況

【事務局から説明】

○大阪府スマートシティ戦略部 東野様

資料のP.14、都市OSの関係です。大阪府では大阪広域データ連携基盤ORDENを整備し、my door OSAKAというポータルサービスもスタートさせています。四條畷市におかれましては、ぜひともこのORDENおよびmy door OSAKAの活用検討を引き続きよろしくお願いいたします。

→我々も都市OSについては令和2年度から目指しておりましたので、しっかりと研究させていただき、引き続き連携もさせていただければと思います。ありがとうございます。

○現地支援責任者 志々田様

最初に私からもコメントさせていただいた路車協調システムですが、私自身も乗せていただいたので、どういうものかは理解しているつもりですが実際に路車協調を使う中で、P.12のアンケートでは「寒かった」という回答があり、そこはなかなか避けられない課題だと思います。利用者の方や市の方から、特に気になるような問題点の指摘は入ってきていないのでしょうか。

→今回の実証実験につきましても、地域の皆様はすごく協力的で色々な方に乗っていただきました。そして他市からもたくさんの方に乗っていただきまして、7割の方から危険を感じなかったと回答があり、特に危険である等のご意見はいただいております。

また、3割程度の方の危ないと思った点については、P.12に書かせていただいております「歩行者と接近した時」や、ゆっくり走るの「車速が遅い時」「他車とすれ違った時」等ご意見いただいております。

○市長

未来技術社会実装としての皆様への進捗状況への共有は、最後でございます。何かを決定するわけではございませんが、こういう事業進捗を行ってきましたというご報告となりますが、ご賛同いただけるということによろしいでしょうか。

【異議なし】

ありがとうございます。

(2) 議事2 大阪府四條畷市未来技術地域実装協議会規約の廃止について

【事務局から説明】

【異議なし】

ありがとうございます。

・委員の皆さまからこの機会を通じてご発言いただいた内容

○近畿経済産業局 黒木様

私は令和3年からこの協議会に参加させていただいておりまして、当初から非常に活発に進んでいるなと思っていたところです。今年度国交省さんの自動運転の補助事業で全国で99か所採択されているうち、関西・福井を含む17か所が選定されておりまして、ほとんど全ての会合に参加して思ったのが、やはり四條畷市さんがすごく進んでいるということでした。経産省でもMaaSの事業をやっている中で、私の私見も含めてですが、自動運転を進めていく中で4つの重要な項目があると思っておりまして、一番大事なことは、住民の方の課題意識、問題意識、当事者意識だと思います。それに加えて、首長様のリーダーシップ、熱心な担当者の方の存在、足りないと思えば躊躇なく外部や事業者の皆さんを引っ張ってくる力、その4つの要素が全て四條畷市さんに整っていると思います。管内の中では、河内長野市も四條畷市さんも、私の個人的感覚ですが非常に進捗しているな、まさに走ることは手段であって、目的は活性化というところがブレずに最初から取組まれているところが本当に、この活動に敬意を表する部分であります。レベル4の実装に向けて、またレベル4もあくまで手段だと思いますので、引き続き全国のモデルとなるようなリーダーシップを発揮いただけたらなという期待を発言させていただきました。

○わたしのいえ・ほっこり 相良様

わたしのいえ・ほっこりという地域コミュニティの関係者としてこの協議会に参加させていただいたのですが、たわらコネクトカートのボランティア団体が出来た時にこの協議会で、色々情報を教えていただいていたのでボランティアスタッフとなり、運行ボランティアにも携わっております。さっき小学生とも話していたのですが、普段であればテレビの中でしかお目にかかれなような皆様と、一般の地域住民が最初から一緒に話し合いを進めさせていただけたということが、すごく良かったんだろうなと感じております。

また、たわらコネクトカートのボランティアをさせていただく中で、ご報告なのですが、選挙がありましたが、投票所に行かれる方で、身体が不自由な方や車の運転が難しい等の理由で交通の不便を感じていらっしゃる方に、このたわらコネクトカートをご利用いただき、投票所まで来て投票していただけたという取組みがありました。実際にご利用された方の生の声のたましえて、足や腰が痛くて投票に行くことをあきらめていたが、この取組みでカートがあったことによって、投票することができてすごく嬉しかったという声を何件かいただき、関わってきてよかったなと感じました。

→たわらコネクトカートの皆さんが主体的に支えていただいているので、今この取組みが成り立っていると思っており感謝申し上げます。また市民の直接の声を届けていただけて嬉しく思

います。今回の選挙でも電子投票を導入したのですが、目が見えづらい方で自分で書いた文字が見えないので選挙に行けなかった方が、タッチパネルで大きな文字で、選ぶだけなので選挙に行けたという声をいただきました。今回も、歩行が困難な方がＴＣＣを利用して、投票に行くことができたということですが、あくまで未来技術は手段であって、その先にある豊かな暮らしに少しでも寄与できたなら、本来の未来技術の活かされ方だと感じます。

○市長

３月３１日をもって協議会としては解散となりますが、引き続き地域コミッティ等の中で、皆様のご意見を伺いながら、このたわらコネクトカートの取組みを前に進めていきたいと思っております。最後に私事ですが、１月１９日をもって任期満了となります。しかし、この取組みは、先ほどもご紹介いただいた通り、地域の皆様を中心に、田原支所、様々な関係省庁、団体様と一緒に歩みを進めているものです。令和７年度以降もますます発展していくと確信しておりますので、引き続きのお力添えをお願い申し上げまして協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。